

THE SHIGA PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.199 (2016-6)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2016.12.1発行

発行者：(公社)滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-3232
滋賀県湖南市平松519-37

編集者：西村 謙太郎(公立甲賀病院)
佐治 哲也(公立甲賀病院)

印刷所：(有)東 呉 竹 堂(ひがし印刷)

リハビリテーションセンター（事業推進担当）での経験を経て感じたこと

滋賀県立成人病センター リハビリテーション科 小林 享子

私は、滋賀県立リハビリテーションセンター事業推進担当（以下、事業推進担当）に、昨年度まで5年間所属し勤務していました。

事業推進担当での仕事は、法や制度に則り、県内のリハビリテーション（以下、リハ）にかかる課題を把握し、その解決に向けて必要な取り組みを行うことです。

代表的な事業をいくつか挙げると、県内のリハの基盤育成を目的に、リハ関連職種を対象とした研修会の開催や、県民のリハの普及啓発を目的とした講演会の開催、また、障害のある方に対しては、二次障害の理解促進や予防を目的に、その方の障害特性に応じた職場環境、作業環境、作業内容の提案や、体の痛みの改善に向けた運動指導などを行っていました。

特に理学療法士などセラピストに向けて行った取り組みでは、障害者手帳を利用して効果的な補装具の作製を促すための啓発ポスターの作製などは昨年度実施したものになります。

事業推進担当の仕事に就くまでは、お恥ずかしい話ですが、病院勤務で日々目の前の患者の理学療法をこなすのに追われ、その方の退院後の生活についてしっかり考えられていなかった自分が居たように思います。この点は、臨床を離れてみて外から自身の理学療法を見つめなおす機会になりました。また同時に、多職種との連携の重要性を感じさせてくれた5年間でした。

限られた入院期間の中では、リハのアプローチとしては限られるかもしれませんが。退院していく患者の後を引き継ぐ支援機関に、その人の身体機能や能力が退院後の社会生活にどのように結びつくのか、わかりやすい言葉でしっかり情報提供を行っていくことを心がけるだけでも、病院で提供してきた理学療法がより活かされ、その方の今後の生活の質の向上や社会参加につなげていくことができるのではないかと感じています。

今年度、臨床に戻り、事業推進担当での経験が生かされているかと聞かれると、まだまだだと思いますが、その方の望む在宅生活、さらには社会参加、自己実現に向けて少しでも力になれるように日々努力していきたいと思っています。

これまで臨床では知ることがなかった県内にある地域資源としての関係機関を知り、そこで活動される様々な支援者の皆さんと顔の見える関係が少しでも築けたことは、私にとって意義深い財産であると感じています。貴重な経験をさせていただいた5年間に感謝しています。

第 32 回滋賀県理学療法学会 一般演題募集

開催日時：平成 29 年 7 月 9 日（日）

会場：野洲文化小劇場

演題募集要項

[1] 今大会の演題発表概要

□述発表形式で行います。

[2] 発表時間

□述発表：1 演題につき 10 分
(発表時間 7 分、質疑時間 3 分)

[3] 応募資格

筆頭演者は、公益社団法人 滋賀県理学療法士会会員に限ります。

[4] 応募方法

抄録の投稿をもって受付と致します。

応募先 E-mail アドレス

rehabili@yasu-hp.jp@nospam

※お手数ですが @nospam を削除の上、送信ください。

[5] 応募期限

平成 29 年 3 月 17 日（金）17 時

[6] 応募上の注意

演題は、未発表の物に限ります。応募された演題（抄録）と当日の発表内容が大幅に変わることをの無いよう、お願い致します。ヘルシンキ宣言に沿った研究であることをご確認ください。

[7] 演題審査及び決定通知

演題の採択は、本学会大会準備委員が定めた演題審査員（査読者）による審査結果を参考に大会長が決定致します。平成 29 年 4 月末日までに応募者のメールアドレス宛に通知致します。

[8] □述発表用スライドについて

採択結果決定後、平成 29 年 6 月 2 日（金）17 時までにファイル保存し、CD-R にて下記住所宛に郵送してください。スライドデータ作成は WindowsPowerPoint 2010 にて動作できるファイル形式で保存をお願い致します。

[9] 抄録の作成

抄録集の事前配布を予定しています。『演者名』『所属』『キーワード(3つ)』、『本文』の順で Windows 版 Microsoft Word にて作成し、電子メールに添付してください。

様式は縦 A4 用紙に横書きにて、一行の文字数は 26 文字以内、行数は 50 行以下とし、印字範囲が横 8.5cm、縦 25.0cm の長方形におさまるようにしてください。

文字の大きさ等については、演題名は MS ゴシック体 12 ポイント、その他の文字は MS 明朝体 10.5 ポイントに設定してください。

本文には【目的】、【方法】、【説明と同意】、【結果】、【考察】、【まとめ】、などの小見出しを付け文字数は全角換算で 1,000 文字以内としてください。

機種依存文字、外字は使用しないでください。図表は抄録に含めないでください。

抄録中に倫理規定に関する記述がない場合には登録できませんので、注意してください。

[10] 公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載

公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載・投稿を推薦する場合があります。

[11] 発表演題申し込みに関する問い合わせ、および抄録の問い合わせ先

特定医療法人社団御上会 野洲病院
リハビリテーション課 神田 良平
Tel 077-587-1332
Fax 077-587-5004

滋賀県理学療法士会・滋賀県作業療法士会・滋賀県言語聴覚士会 共同主催 第7回滋賀県訪問リハビリテーション実務者研修会

今年度も、日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・日本言語聴覚士協会そして全国訪問リハビリテーション振興委員会が主催し、実務者研修会の開催を企画いたしました。「多職種連携」をテーマとして、今回は医師会より先生をお招きし「県内で進めておられる・連携ネットワークの試み」他、地域で、在宅を支える先生から、訪問リハへの提案・期待を、また県行政からも同様に訪問リハへの期待と要望をお話いただくなど、事例報告・グループワークなど、皆さんに興味を持っていただき実践で活用できるよう企画しています。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。「滋賀県で訪問リハに携わるセラピスト、携わりたいセラピスト、いつか訪問リハを・の思いのあるセラピスト・皆さん集まりましょう！そして・語り合いましょう。」皆さんにお会いできることを楽しみにしています。ともに学びましょう。

開催日時：平成29年1月14日(土) 13:30～17:30 (受付 13:00 より)

平成29年1月15日(日) 9:00～16:30

会場：近江八幡市立総合医療センター よしぶえホール (昼食は各自で、ご用意ください)

参加費：三士会会員 1000 円、非会員 2000 円

参加対象：現在訪問リハに携わっているセラピストはもちろん訪問リハに興味のあるセラピスト、未経験者。

内 容：

1月14日(土)

13:00～ 受付開始

13:30～ 開会の挨拶(予定) 滋賀県言語聴覚士会会長 家守秀知

13:35～ 全国訪問リハビリテーション地域リーダー会議の報告

13:45～ 恒例！「突撃となりの事業所さん ～事業所・施設間情報交換～」

14:45～ 訪問リハビリテーション・活動と参加における多職種連携

・医師より訪問リハへの提案と期待(14:45～15:15)

「訪問リハビリにおける連携・淡海あさがおネットの活用」

滋賀県医師会 本多朋仁 先生

・行政より訪問リハへの提案と期待(15:15～15:45・その後10分休憩)

滋賀県医療福祉推進課 中村恭子さん

・時期別訪問リハ・多職種連携の事例報告(10分3事例)(15:55～16:25)

回復期退院直後・生活期・ターミナル期など

・シンポジスト全員での意見交換(16:25～16:45)

16:55～ 訪問リハ・活動と参加における多職種連携シンポジウムをうけてグループワーク

17:30 終了

1月15日(日) (8:30 受付)

9:00～ 「福祉用具導入について」県立リハビリテーション 更生相談係 南部康彦さん

10:40～ 「事例紹介……2～3事例」グループワーク……発表……まとめ

16:00 挨拶 修了証発行(2日参加者)

申し込み：2 日間の参加にてお願いします。

別紙申し込み用紙にて、各事業所単位で、申し込みください。(定員 60 名程度)

申し込み締め切り：12/25 必着

※専用申込み FAX 用紙または、メール(氏名・所属・職種・経験年数・電話連絡先記載の上)にてお申込み下さい。

申し込み・問い合わせ先：老人保健施設リハビリセンターあゆみ

fax 0748-42-0111 電話：0748-42-3355 北村まで

メールアドレス：shigahoumon@yahoo.co.jp

地域ケア個別会議に関するモデル研修のお知らせ ～滋賀県 PT・OT・ST 合同研修会～

日 時：平成 29 年 2 月 26 日(日) 午前 9 時 20 分～午後 12 時(受付 9 時)

場 所：近江八幡市立総合医療センター 1 階よしぶえホール

近江八幡市土田町 1379 電話：0748-33-3151

対 象：地域包括ケア推進リーダー導入研修の修了者

募集人数：理学療法士 40 名 ※ OT・ST で 40 名 合計 80 名

参 加 費：無料

内 容：9:20～9:25 滋賀県作業療法士会長挨拶

9:25～10:25 POS の専門性を活かした助言

10:25～10:35 休憩

10:35～11:40 地域ケア会議資料の見方・模擬会議・グループワーク

11:40～11:55 平成 30 年度同時改正に向けた課題と今後の方向性

11:55～12:00 滋賀県言語聴覚士会長挨拶

講 師：(理学療法士)

天津市立介護老人保健施設ケアセンターおおつ 本白水 博氏

東近江市蒲生医療センター 杉澤 輝彦氏

野洲病院 中井 洋介氏

(作業療法士)

長浜メディケアセンター 鈴木 雅晴氏

リハステーション守山 岡本 理宏氏

(言語聴覚士)

滋賀医科大学医学部附属病院 川見 員令氏

近江温泉病院 阪下 浩平氏

※この研修会は、士会指定事業に適用されます

申 込：平成 28 年 12 月 1 日(木)～平成 29 年 1 月 27 日(金) 必着

申込方法：下記のアドレスまで e-mail にて事前にお申込みください

件名には、必ず「地域ケア個別会議研修会申込み」と入れ、氏名・所属・導入研修終了年度を明記して下さい。※参加者には締め切り後、返信いたします。(導入研修修了者は、是非とも出席して下さい)

アドレス E-mail: rehabili@yasu-hp.jp@nospam

※お手数ですが、@nospam を削除の上、送信して下さい。

野洲病院 リハビリテーション課 中井宛 TEL: 077-587-1332

平成 28 年度第 4 回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録（要約）

開催日時：平成 28 年 10 月 13 日（木） 18 時 00 分～ 21 時 00 分

開催場所：滋賀医科大学医学部付属病院リハビリテーション科控室

主席理事：本白水博、平岩康之、弘部重信、松岡昌己、柴田健治、川崎浩子、宇於崎孝、堀口幸二、石井隆、吉田環 **現在理事数：**11 名 **監事数：**2 名 **議長：**本白水博

○報告事項

各部・各委員会報告

総務部・事務局（平岩副会長）

- (1) 10 月現在会員、953 名（理事会承認待、入会手続中を含めると 972 名）
- (2) 9 月 6 日に県立ち入り検査がありいくつかの指摘事項があった。
指摘事項に対しては、適時修正、変更をしていく。
- (3) 圏域リハビリテーション支援事業を推進するため、アルバイトの理学療法士、事務員を雇用する。
- (4) 9 月 4 日全国事務局長会議出席
平成 30 年度をめどに会費前納制が開始される予定。
- (5) 10 月 1 日全国事務局研修会出席
マイナンバーの取り扱い方や公益社団法人・一般社団法人における適正な公益事業実施について、講演・グループワークを受講してきた。
- (6) 他団体等からの依頼について
滋賀ダイハツよりイベントへの協力依頼（詳細を問い合わせ中）
野洲養護学校より理学療法士の派遣依頼（年間 70 時間）

厚生部

- (1) 9 月ゴルフコンペ開催（参加 23 名）
- (2) 10 月比良山ハイキング（参加者 14 名）

生涯学習部

- (1) 8 月 28 日、9 月 11 日新人研修実施

診療報酬部（柴田理事）

- (1) 11 月 3 日（祝）第 2 回診療報酬部情報交換会を野洲病院にて開催予定。

介護保険部（吉田理事）

- (1) 9 月 11 日第 2 回生活支援系研究会を、滋賀県立男女共同参画センターで開催。10 施設 11 名の参加
- (2) 8 月 25 日、10 月 4 日 第 7 回訪問リハビリテーション実務者研修会会議を 3 士会で実施

広報部

- (1) 士会ニュースでの新人紹介・レイアウト等について検討する。

公益事業部

- (1) 10 月 1 日こどもチャレンジフェスタ（参加者 28 名）
- (2) 10 月 8 日リレーフォーライフジャパン（士会員 9 名参加）

保険福祉部（松岡副会長）

- (1) 11 月 20 日（日）第 5 回研修会開催
「障害児・者の ICT 活用について」
会場 びわこ学園医療福祉センター野洲

教育部（弘部副会長）

- (1) 学術誌部での研究助成金メ切を 1 か月延期との報告。

○各会議報告・その他

- (1) 第 3 回国体支援委員会研修会開催（9 月 25 日 参加者 55 名）
- (2) 平成 28 年度上半期の執行理事、職務執行状況について報告される。
- (3) 次年度事業計画・予算計画について、各部に計画を立ててもらい拡大理事会にて報告するよう要請される。
- (4) 日本理学療法士協会より、介護予防事業の普及・推進で士会で抱えている課題、及び懸念事項等を回答要請。統括マネージャー（仮称）の推薦について報告があった。

○審議事項

- (1) 平成 29 年度組織図（案）について報告される。今後も検討していく事が承認された。
- (2) 県士会研修体系について方向性を報告される。継続検討事項とする事が承認された。
- (3) 平成 29 年～平成 30 年度にかけての基本方針（案）について報告、承認される。
- (4) 障害者スポーツ支援委員会設置について報告される。設置は承認。名称、組織の位置づけは継続検討事項となる。



新人紹介



氏 名：北村 修一
病院名：神崎中央病院
出身地：滋賀県
趣 味：映画鑑賞

ひとこと：

今年度より神崎中央病院に勤務している、北村修一と申します。

入職して早5ヶ月経ち、患者さんに関わる機会を頂き、責任を感じるとともに日々自分の未熟さを痛感させられます。患者さんに的確な治療ができるように学習し、また病院スタッフや患者さんに信頼して頂ける理学療法士を目指し頑張ります。



氏 名：佐川 卓
病院名：神崎中央病院
出身地：滋賀県
趣 味：風景写真

ひとこと：

今年度より、神崎中央病院に入職しました佐川卓と申します。さて、入職して早半年がたちましたが、改めて自分の知識や技術不足を実感している状態です。今まで以上に早く過ぎていく時間をいかに有効的に使うかを考え、仕事と生活の質を高めていきたいです。



氏 名：布柴 一真
病院名：神崎中央病院
出身地：滋賀県
趣 味：読書、音楽

ひとこと：

はじめまして。今年の4月から神崎中央病院に勤務しています。早く一人前の理学療法士となり、多くの患者さんを笑顔にできるよう日々精進していきたく思います。よろしくお願いします。



氏 名：饒平名 慎
病院名：神崎中央病院
出身地：沖縄県
趣 味：甘いものを食べる

ひとこと：

慣れない土地での不安も多いですが、優しい先輩や同期のおかげで少しずつ慣れてきました。未熟な部分が多いですが、焦らずひとつずつ出来ることを増やしていきたいです。今後もしっかりお願い致します。



氏 名：土井 真
病院名：マキノ病院
出身地：滋賀県
趣 味：野球

ひとこと：

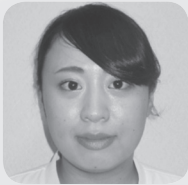
マキノ病院に入職し5カ月が経ちました。毎日患者様と関わっていく中で、理学療法の難しさを感じています。今後は、マキノ病院の理念である地域で最高の医療が提供できるように頑張っていこうと思います。どうぞよろしくお願い致します。



氏 名：岩崎 巧弥
病院名：マキノ病院
出身地：京都府
趣 味：映画鑑賞

ひとこと：

今年度よりマキノ病院に入職させていただいた岩崎と申します。恵まれた環境や先輩方に支えられ、業務をさせていただいております。患者様と接する中で自分の未熟さを痛感し、勉強の毎日です。職場で貢献できる理学療法士となれるよう、初心を忘れず切磋琢磨していきたいです。



氏 名：黒川 愛実
病院名：マキノ病院
出身地：滋賀県
趣 味：ドライブ

ひとこと：

今年度よりマキノ病院で勤務させていただいております。黒川愛実と申します。入職して約半年が経ち、日々患者様と関わらせていただく機会が多くなってきました。毎日新しいことの連続で悩むことも多く理学療法の難しさを痛感しています。優しく接して下さる先輩方に支えて頂きながら日々知識と技術を磨き、患者様にとって信頼できるセラピストとして活躍できるようがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。



氏 名：川島 まきば
病院名：南草津病院
出身地：滋賀県
趣 味：映画鑑賞、買い物

ひとこと：

今年度から南草津病院にて勤務させて頂いております。初めて社会人として働くということもあり不安もありましたが、中学の頃より目指していた理学療法士となり先輩方に教えていただきながら充実した日々を送っています。これから理学療法士として成長できるよう精進していきます。



氏 名：中倉 里菜
病院名：南草津病院
出身地：滋賀県
趣 味：読書

ひとこと：

今年から南草津病院で理学療法士として勤務させて頂いております。入職して臨床の場に立ち改めて患者様と接する中で知識・技術不足を痛感する日々ですが毎日が充実した日々を送っています。これから理学療法士として一人前になれるよう精進していきます。



氏 名：野尻 紗代
病院名：アロフェンテ彦根
出身地：滋賀県
趣 味：旅行雑誌を読むこと

ひとこと：

介護老人福祉施設アロフェンテ彦根で勤務させて頂いております野尻と申します。早いもので入職して半年が過ぎました。日々知識と技術不足を痛感しておりますが頼れる上司や優しい先輩、そして学生時代にお世話になった先生に支えられて今日まで至っております。

リハビリ目的だけでなく様々な理由でお越しになれる利用者様方がいる中で、身体状況だけでなく、心の面にもしっかりと目を向け、その方々に寄り添ったリハビリを行えるよう精進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



氏 名：棚池 奈津海
病院名：南草津病院
出身地：滋賀県
趣 味：スポーツ、買い物

ひとこと：

今年から南草津病院で勤務させて頂いています。入職して半年が経ちました。日々の業務の中で勉強不足と未熟さを痛感するばかりですが、優しく指導して下さる先輩方と同期に恵まれ、楽しく充実した日々を送っています。今後も、患者様によりよい理学療法を提供できるよう努力していきます。



氏 名：白井 風香
病院名：南草津病院
出身地：滋賀県
趣 味：お菓子を食すること

ひとこと：

今年度より南草津病院で勤めさせて頂いている白井風香と申します。入職して半年が経ちました。優しい先輩方と同期に助けられながら楽しく頑張っています。それと同時に理学療法士として働く事の大変さも感じています。これから理学療法士として成長できるように頑張ります。



氏 名：中村 円香
病院名：南草津病院
出身地：滋賀県
趣 味：映画鑑賞

ひとこと：

今年度より、南草津病院で勤務させて頂いています。入職して半年が経ちましたが、日々、先輩方にアドバイスを頂きながら、頑張っています。今後も、理学療法士として成長出来るよう、努力していきたいと思います。



氏 名：大芝 樹
病院名：南草津病院
出身地：滋賀県
趣 味：読書、音楽鑑賞

ひとこと：

今年度より、南草津病院に勤務させて頂いています。入職して半年が経ちました。新社会人として初めは不安もありましたが、良い先輩方に恵まれ、日々充実した毎日を送っております。これからも、良い理学療法士になれるように努力していきます。



氏 名：稲館 清人
病院名：近江温泉病院
出身地：滋賀県
趣 味：音楽

ひとこと：

入職して半年、臨床の難しさを痛感する毎日ですが、同時に充実感も感じております。地域医療の一員としての自覚を持ち、日々の業務に取り組んでいきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。



氏 名：志水 萌々子
病院名：近江温泉病院
出身地：長野県
趣 味：音楽、ウィンタースポーツ

ひとこと：

入職して半年が経ちました。力不足を日々痛感している毎日ですが、患者さんとのリハビリ、先輩からの貴重なご指導を通して理学療法へのやりがいを感じております。今の自分に何ができて、何ができていないのかをしっかりと把握し、向上心を忘れずに取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願い致します。



氏 名：二階堂 素子
病院名：近江温泉病院
出身地：滋賀県
趣 味：猫カフェ巡り

ひとこと：

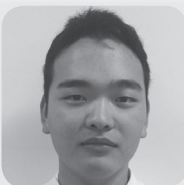
入職して半年が経ち、業務にも慣れてきましたが、自分の知識・技術不足、未熟さを日々痛感しています。悩むことも多いですが、丁寧にご指導してくださる先輩方や、患者さんの笑顔に支えられ、日々過ごしています。より多くの患者さんを笑顔に出来るように、向上心を持って、精進していきたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。



氏 名：守矢 高瀬
病院名：近江温泉病院
出身地：愛知県
趣 味：読書

ひとこと：

4月より近江温泉病院にて理学療法士として働かせて頂いております。実際に責任をもって患者様と接していくにあたり、知識、技術、考え方の不足を痛感しております。少しでも患者様のQOL向上に貢献できるよう、研修会、自己研鑽にてスキルアップ出来るようこれからまた気を引き締め、尽力して参ります所存です、どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



氏 名：植田 征太
病院名：済生会滋賀県病院
出身地：滋賀県
趣 味：シュノーケリング

ひとこと：

入職して半年、海と仕事の両立を目指し勤務する中でPTとしての知識・技術の未熟さが浮き彫りになり先輩方に支えられながら忙しくも充実した毎日をすごさせて頂いております。
患者さまに信頼される理学療法士になれるよう頑張ります。今後とも宜しくお願い致します。





氏 名：竹澤 翔太
病院名：済生会滋賀県病院
出身地：滋賀県
趣 味：旅行、サッカー

ひとこと：

今年度から勤務させて頂いております。入職して数か月経過しましたが、慣れてきている感覚はなく、優しい先輩方に教えていただいている毎日です。大変な仕事ですが患者様に感謝されることですごくやりがいを感じています。今後も自己研鑽に努めていきますので宜しくお願い致します。



氏 名：和田 拓弥
病院名：済生会滋賀県病院
出身地：滋賀県
趣 味：読書

ひとこと：

4月より済生会滋賀県病院で勤務させて頂いております和田拓弥と申します。入職して半年が経ちますが、まだまだ未熟であり、先輩方に支えて頂きながら日々を過ごしています。

急性期ということもあり、今後の事を不安に感じられる患者様が 多くいらっしゃいます。そんな患者様のためにも何が出来るか精一杯考え、知識、技術を向上させていきたいと思ひます。今後ともご指導よろしくお願い致します。

10月号の新人紹介で豊郷病院の方の紹介文と顔写真が異なっていました。青地氏、池元氏、伊藤氏にはご迷惑をおかけして、大変申し訳ございませんでした。本号で再度掲載いたします。



氏 名：伊藤 健二
病院名：豊郷病院
出身地：滋賀県
趣 味：弓道

ひとこと：

今年度から豊郷病院で勤務させて頂いております。入職してから数か月が経ち、業務にも慣れてきましたが、知識や技術の拙さを感じています。未熟な自分にご指導して下さる先輩方や日々フォローしてくれる同期に感謝しながら、成長できるように努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



氏 名：青地 耕佑
病院名：豊郷病院
出身地：滋賀県
趣 味：スポーツ

ひとこと：

四月より豊郷病院で理学療法士として勤務している青地耕佑と申します。入職して早くも数か月が経ちましたが、優しい先輩方や同期に恵まれ、毎日楽しく充実した日々を過ごしております。患者様と接する中で自分の知識・技術不足を痛感する毎日ですが、より多くの患者様の笑顔が見られるよう頑張りたいと思ひます。



氏 名：池元 孝弘
病院名：豊郷病院
出身地：滋賀県
趣 味：スポーツ

ひとこと：

奈良の専門学校を卒業し、今年から豊郷病院に勤務しています。臨床の現場では知識・技術の未熟さを実感しています。少しでも患者様に信頼される理学療法士になるために感謝の気持ちを忘れず、日々努力していきたいと思ひます。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



2016 年秋公益事業 3 事業のご報告

〇しごとチャレンジフェスタ 2016

10月1日に滋賀県療法士会はしごとチャレンジフェスタ2016(テクノカレッジ草津)に参加しました。小学生～中学生を対象に『理学療法』のおしごとを学び、体験していただきました。みなさん熱心におしごとを体験されました。親御さんも参加され大変盛況でした。



〇リレーフォーライフ・ジャパン 2016 滋賀医科大学

10月8日～9日に滋賀医科大学にてリレーフォーライフ・ジャパンが開催されました。滋賀県では今年で第3回目の開催となりますが、滋賀県理学療法士会は今年からの参加させていただきました。ガン撲滅のイベントで、多くの人の思いが込められた行灯の並ぶなかをサバイバーさん、ケアギバーさんとともにタスキを繋ぎウォーキングしました。



〇おおつ健康フェスティバル 2016

おおつ健康フェスティバル2016が、10月16日に明日都浜大津にて開催されました。滋賀県理学療法士会は、「脳とからだのリハビリ体操」をテーマに運動を指導させていただきました。体操の前後で比較していただき、多くの参加者からその変化に驚きの言葉や感謝の言葉を頂きました。運動の大切さを実感していただいたと感じています。

参加者は60名で、多くの方々に参加していただき盛況でした。参加していただいた方々に心より感謝いたします。我々理学療法士の仕事を地域の方々に伝えられたと思います、今後もより積極的に開催していきたいと考えております。



滋賀県理学療法士会 公益事業部
甲賀市水口医療介護センター
岸本 美地彦

地域包括ケア推進委員会 大津ブロックの活動紹介

I 現体制に至るまで

平成26年に県下7圏域でのブロック活動がスタートしましたが、大津ブロックは市内15病院をはじめ医療機関勤務者が多く、地域に携わる理学療法士も不明ななかでのスタートでした。開始当初に田中隆司氏、並河孝氏に委員としてご協力いただき、現在、森ブロックリーダーのもと委員11名で活動するに至りました。

II 大津市におけるリハビリテーション専門職の活動

市内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士は、任意で大津市主催「大津市地域リハビリテーションサポーター会議」に参加しています。

今年度は、3つのワーキンググループに分かれて、それぞれ目標を掲げ活動しました。

多職種協働グループは、多職種協働の場への参加として、7月の大津市多職種連携協働事業ブロックリーダー養成講座にてリハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）のプレゼンテーションを実施。9月25日の大津市医療福祉フォーラムでは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士協働で職種紹介パネル展示をおこないました。大津市は市内7エリアに地域包括支援センター（大津市では「あんしん長寿相談所」）が設置されており、各エリアに対応すべくそれぞれの窓口となるセラピストも決定しました。

住民運営通いの場グループは、地域のサロン等への出前講座の実施を目指しました。出前講座のテーマを①認知症、②転倒・骨折予防とし、8月に出前講座資材が完成、10月に士会員の轟氏、浦林氏による講義が決定しています。

通所・訪問サービスCグループは、介護予防・日常生活支援総合事業の中の訪問型・通所型サービスC（短期集中予防サービス）の検討を行いました。短期集中予防プログラムならびに居宅訪問チェックシートや運動機能評価などの帳票（原案）を作成し、今後は運用にむけて検討をすすめるところです。

III 大津ブロックの取り組み

大津ブロックでは当初「地域包括ケアシステムを動かすための活動」を優先目標として、地域活動への参加を進めてきましたが、今年度は『自立支援（への）マネジメント』を掲げました。他市町の地域ケア会議では自立支援マネジメントを目的にリハビリ職が参集されることが多いなか、大津市の地域ケア会議は困難事例を中心に実施されているため参集されない実態があります。今後は受身でなく、こちらから発信する取り組みも必要と考えています。

IV 果たすべき役割とお願いしたいこと

介護予防への取り組みが求められていますが、“健康寿命延伸のみを目的とした介護予防”では行き詰まることが予測されます。日本理学療法士協会のポスターにも起用されている三浦雄一郎氏の父三浦敬三氏は生涯スキーを目的に、毎日のトレーニングに加え、食事にも気を配っていました。これが理想の介護予防モデルではないでしょうか。人生の質を向上させるための活動が結果的に介護予防となる。その取り組みに寄与することこそ理学療法士が果たすべき役割と考えます。

理学療法士が活躍している場面は、医療現場のみならず、スポーツ場面や労働衛生環境、地域防災など広がりを見せています。あらゆる場面で活躍する理学療法士が、地域に対してお話しいただくことは理学療法士にしかできない強みであると考えます。プロ野球選手がオフシーズンを利用しボランティア活動を行うように、理学療法士もあたり前にプロボノ活動ができる職種であることを願っています。会員が年間1回の協力をおこなうだけで地域リハビリテーション活動がまかなえます。

会員のみなさまの参加協力をお願いいたします。

大津ブロック委員 11 名 (H28.10.1 時点)

森 美穂 (琵琶湖大橋病院) : ブロックリーダー

高木 千春 (琵琶湖中央病院)

長谷部 稔 (琵琶湖中央病院)

轟 紘子 (B・O・H ケア・サービスセンター)

井岡 美津子 (医療法人弘英会さくらテラス)

末廣 淳 (ヴェール訪問看護ステーション)

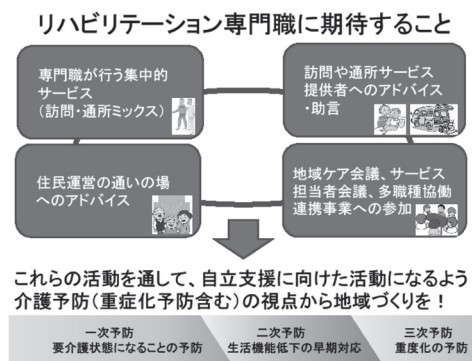
浦林 豊 (遠藤クリニック)

入山 剛 (通所リハビリセンター楽々)

桂 純一 (ひかり病院)

中島 圭介 (ひかり病院)

西山 直樹 (大津市保健所)



(図 1) 市町がリハビリテーション専門職に期待すること
(平成 27 年度第 1 回大津市地域リハビリテーションサポーター会議資料)

大津市青山健康づくりフェスタ (ロコモ度テスト) に参加
(平成 28 年 2 月)



リハビリテーションセラピスト出前講座資料発表
(平成 28 年度第 3 回リハビリテーションサポーター会議)



大津市医療福祉フォーラムにリハビリテーション専門職としてパ
ネル展示 (平成 28 年 9 月)

滋賀県理学療法士会 厚生部 会員公募事業 「第2回ハイキング 比良山小女郎峠」

10月2日、比良山系、薬師の滝から小女郎峠を登りました。メンバーは士会員8名、その家族や同僚が6名の合計14名、下は5歳から上は5?歳まで幅広い年齢層の方が参加されました。

この日のために靴や用具をそろえたり、一年ぶりの山歩きの輩、この日を期待した甲斐あって、秋雨前線が居座り台風が近づいているにも関わらず、参加者のがんばりが天に届いたのか、この日だけは雨が降らず天候に恵まれました。

約6時間のゆっくりした行程でしたが沢渡りや石ごろごろの急坂、手も使わないと転落しそうなところもあり、「これがハイキングか?」という声も聞かれるほどのハードな山道を一人の脱落者やけが人もなく皆完登することができました。

頂上はいにく曇りでしたが、幻想的な小女郎池を見学した後、南湖から近江八幡、北湖も眼下におさめることができる場所で昼食をとりました。ここでも天が味方し、一瞬ですが雲が薄くなり、眼下に琵琶湖や蓬莱山の頂上を臨むことができました。

次回は史跡巡りやフラワーハイク等、歩く以外の楽しみのあるハイキングへの要望の声がちらほら聞かれた今回の士会ハイキングでした。

(報告者 石井 隆)



小女郎ヶ池で記念撮影



蓬莱山を眺めながら昼食



険しい登り坂も



山頂付近は雲の中

滋賀県理学療法士会ゴルフコンペ開催

平成 28 年 9 月 22 日（秋分の日）に名神栗東カントリー倶楽部にて今年度の厚生部公募事業である滋賀県理学療法士会ゴルフコンペを開催させて頂きました。

秋雨前線が次第に北上。九州北部から関東を中心に広い範囲で雨。前線に吹き込む湿った空気で活発な雨雲が発生している中、2 年連続の雨を覚悟しなくてはならない予報。

しかし、名神栗東カントリー倶楽部だけ奇跡的に晴れました。晴れ男たちの共演は、前川昭次さん（滋賀医科大学医学部附属病院）の実弾始球式で幕を開けました。

今年度の参加者は、女性 2 名を含む総勢 23 名の大コンペでした。

スコアは、秋雨前線の影響を受けた方から、秋晴れのような清々しいスコアの方までいろいろでした。

滋賀県の理学療法士会コンペは、日頃顔を合わせない他病院や他施設の方々とアットホームな雰囲気の中でプレーをし、交流を深めることが目的です。一日を通し、皆仲良く、楽しく、ケガすること無く、交流を深めることができました。

来年度も盛大に行いたいので、滋賀県理学療法士会の皆さん、初心者・女性問いません。どしどし参加してください。そして、より良い交流の場にしましょう。



参加者集合写真



始球式の様子



ルール説明

会長行動録

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 9 月 6 日（火） 法人監査（滋賀医科大学） | 10 月 8 日（土） リレーフォーライフ（滋賀医大） |
| 9 月 8 日（木） 執行理事会 | 10 月 13 日（木） 理事会 |
| 9 月 9 日（金） POS 協議会 | 10 月 16 日（日） おおつ健康フェスティバル |
| 9 月 12 日（月） リハビリテーション協議会 | 10 月 17 日（月） 管理者研修について打ち合わせ |
| 9 月 18 日（日） 地域包括対策本部（東京） | 10 月 21 日（金） 介護給付費審査委員会 |
| 9 月 26 日（月） 健康フェスティバル実行委員会 | 10 月 22 日（土） 成人病センター起工式 |
| 10 月 1 日（土） こどもチャレンジフェスタ（公益事業） | 10 月 25 日（火） 災害対策委員会 |

こんな本

読みました!



琵琶湖中央病院

北野 希

【題名】

ヤバい心理学 眠れなくなるほど面白い

【著者名】

神岡真司

【出版社】

株式会社 日本文芸社



真っ黒な表紙に「ヤバい心理学」と書かれた本書に目を引き、つい手に取り読み込んでしまいました。私の心理学は学生時代に講義で聞いたくらいであり、興味を抱くものではありませんでした。本書は様々な行動心理学が様々な日常場面に合わせて簡潔にまとめて書かれており、気軽に読みやすく、心理学に対しての興味が深まった一冊でした。

本書の中で気になったテーマの一つが「うっかり」ミスが度重なるワケ。誰しもあると思われるうっかりミス、これが繰り返されることは心理学上『錯誤行為』と呼ばれるそうです。『錯誤行為』とは、意識的に何かをしようとしたとき、妨害する意図が無意識に作用する結果や異なる行動のことを指します。ミスとは本人が気づいていない真の願望の表出であり、多い人は、抑圧されて日々葛藤している、または自分の本音から目を背け、自分で自分をだましている状態なのかもしれないそうなのです。このことより、物忘れなどのうっかりミスを減らす為には、忘れないようにメモを取るという行動の対処だけでなく、真の願望を認め、向き合い、原因を取り除けるのかという心理状態を考えることこそがミスを減らす根本的な方法ではないかと感じました。

今回、本書を読むことで自分のことを見直し、他者のことをより一層考える機会を作ることが出来ました。そのような機会や心理学に対して興味を抱くきっかけとして、一読されてはいかがでしょうか。

こんな本

読みました!



大津市社会福祉事業団

並河 孝

【題名】

『巡礼日記—亡き妻と歩いた600キロ—』

【著者名】

垣添忠生

【出版社】

中央公論新書



医療界では、著者の名前は知れ渡っている。10月9日の読売新聞くらし健康医療コーナーに『妻亡くし、お遍路でグリーフ・ワーク』と題した記事を読み、急いで本を買って求めた。最愛の奥さまをがんで亡くされ、がん臨床40年がん研究の第一人者の著者にとって、わずか4ミリで発見した肺がんを治せなくて、人生の伴走者を失ったショックは測りも知れない衝撃であった。癒えることなく7年たち、悲しみを抱きながら四国八十八ヶ所の巡礼に出られた。一番過酷な盛夏を選び、役職を多数お持ちなので会議の少ない時期として、昨年の7～8月に巡られた。その間、悲しみを忘れるため居合道・登山や雪山を始め、グリーフ・ワークを積極的に実践して、一年がかりで見かけ上は普通に生活できるようになった。しかし心の奥深くには決して癒えることのない深い悲しみが巣くっていた。お遍路は、弘法大師(空海)が庶民救済の手立てとして四国の地に路(みち)を遍(あまね)く循環式霊場を施されたといわれている。盛夏に600キロという過酷な状況に置くことで妻との40年にわたる人生を他事に煩わされなく追体験になり、妻の鎮魂になると考えられた。遍路中に妻のことを思い出し、また数々の『お接待』を受けるありがたさを体験し、この巡礼は妻の鎮魂・慰霊というより妻への感謝の旅に変わっていった。最愛の奥さまを亡くされて3冊目の執筆であり、印税はすべて日本対がん協会に寄附されている。最後に日本の保険診療は冠たる素晴らしいものであるが、遺族へのケアはその

対象にはならない。がん拠点病院にはスピリチュアル・ケアとグリーフ・ケアの提供を提案されている。興味ある方は是非ご一読下さい。

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

✓ 事務局

ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当：ケアセンターおおつ 本白水

✓ 入会 異動 財務関係 公文書発送

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになりました。

<http://www.japanpt.or.jp/>

info@shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 平岩 TEL/FAX 077-548-2670

✓ 発送物関係 総務部

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月 25 日までに申し出ください

折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください（会員のみ、関連団体込など）。
各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

✓ ホームページ原稿受付

担当：kojin@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 岩井

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

✓ 士会ニュース原稿受付

shigaptnews@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 龍本

✓ 研修関係 研修部

ptshigakennsyukai@yahoo.co.jp 担当：小児保健医療センター 清岡

✓ 介護保険部

ptkaigohokennbu@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院訪問リハビリテーション事業所 深江
電話 /FAX は 0748-62-3081

✓ 診療報酬部

rehabili@yasu-hp.jp 担当：野洲病院 辻村
TEL : 077-587-1332 FAX : 077-587-5004

✓ 生涯学習関係 生涯学習管理部

m-ikeya@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 池谷
TEL 0749-46-2322

✓ 厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

事務局 だより

12月分

○会員数 959 名 士入会手続き中 6 名 合計 965 名 会員権利停止者除く

○賛助会員 6 社

日本理学療法士協会マイページの中の会員専用サイトが充実してきています。是非ご覧ください。尚、マイページには各自入れるようにしておいてください。

協会費の割引制度について

シニア割引、育児休業割引などが始まっています。適応になる方は是非ご利用ください。

詳しくは日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

<http://www.japanpt.or.jp/members/membership/fee/>

尚、士会費分 9000 円に関しては現在のところ割引制度はございません。ご了承ください。

新入会された方へ

入会手続きされた方で入会金、会費等が未納で、日本理学療法士協会の規定で会員権利を停止されておられる方が多数おられます。該当される方には協会から通知メールが送られていると思います。速やかに入金手続きをされるようお願いいたします。

会員権利停止の方には士会からの郵送物の発送も停止させていただいております。

会員異動について

所属施設の変更、県内外への異動、姓の変更、自宅住所の変更などがありましたら必ず、マイページからお手続きください。紙申請は平成 25 年 12 月で廃止されました。

ユーザー名やパスワードをお忘れの場合は「ID・パスワード」再発行申請書を協会に送付して再発行していただく必要がありますのでご注意ください。申請書は協会ホームページの異動・休会・復会等の手続きのページからダウンロードできます。

異動手続きを怠りますと協会や士会からの発送物がお届けできないばかりか、転居後新しい住民の方にご迷惑をおかけしますのでご協力お願いいたします。

施設名の変更がありましたら、所属施設の責任者の方のマイページから修正が出来ます。出来ない場合は平岩までお知らせください。

発送物は昨年度から会員区分が施設の方は所属施設の方へ発送することになりました（PT 協会からの発送物を除く）。

県内の病院、施設等にお勤めの方は、必ず所属施設をマイページで登録しておいてください。

日本理学療法士協会ホームページ <http://www.japanpt.or.jp/>

会員異動、会費関係問い合わせ先

〒520-2192

大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 平岩康之 宛
問い合わせ info@shiga-pt.or.jp

編集後記



ひと肌恋しい季節がやってきました。
年の瀬の忙しい毎日です。
ひと時遠くの人を思う時間を作って
いけたらいいですね。

車椅子に乗ったまま、2階に 手ごろな価格 簡易スタッカーリフト 合理化と省資源化で業界最安値水準を実現



- ・ **省スペース**
最小半坪から、押入を転用しての設置も
- ・ **イージーオーダー**
設置場所、障害の具合にあわせて対応
- ・ **ユニット式で工事簡単**
新築でも、後付けでも、大掛かりな工事不要
- ・ **イージーメンテナンス**
お客様にご負担をかける保守を低価格で
- ・ **家庭用電源 {100V 電源} を使用**
特別な電気工事也不要です。
- ・ **今お住まいの家を住みよく**
車いすでのバリアフリーな生活や便利な生活に新しいお住まいの間取り設計がより自由に

長年にわたり、数多くの、脳血管疾患、脊損、胸、腰損、頸損その他の障害をお持ちの方々や高齢者の方にご利用いただいております。

詳細はパンフレットをごらんの上、気軽にご相談ください。
患者さんや障害をお持ちの方の立場でご相談をお受け致します。

必要な患者様をご紹介してください

ユーウノ製作所株式会社

(営業本部) 東京都中央区日本橋 2 - 10 - 11
三重県伊賀市横山 3440-1294
電話 0120-17-2434

SHIGA SCHOOL of Medical Technology

滋賀医療技術専門学校

～新しいリハビリテーション医学を学ぼう～

最速・最短・最小学費で国家資格を取得！

- ①理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制！
- ②学費は3年間でわずか300万円！
- ③関連校である藍野大学への編入制度を計画中！

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町 967 番地

学校法人 藍野学院

滋賀医療技術専門学校

TEL : 0749 (46) 2311

FAX : 0749 (46) 2313

E-mail : shiga@aino.ac.jp

<http://www.aino.ac.jp>